

JR東日本労働組合

秋田ジャーナル

JR東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ～ 佐藤 俊樹

編集者 ～ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



サービス向上及び生産性の向上等

「秋田駅の業務体制の見直し」

9月20日支社が提案！

地方本部は9月20日に「秋田駅における業務執行体制の見直しについて」秋田支社より提案を受けました。

会社は「指定席券売機の導入、機能向上等により駅の販売体制を構築してきた。販売体制の構築により、お客様のご利用状況も変化してきたため「みどりの窓口」の営業時間はご利用実態に合わせた時間に見直しを行う。また、サービスマネージャーについては、お客様の様々なニーズに対応できるように一部見直し、駅業務の更なるサービス向上及び生産性の向上等を図る。」と基本的な考えを示しています。

この間、駅の業務委託化が進められてきており、秋田県の中心駅である「秋田駅」の重要性や利用者へのサービス向上は今後も変わらない重要な位置づけとなる駅です。

①みどりの窓口の営業時間の変更

- ・現行-5:30~22:00、泊り2本・日勤1本
- ・改正-5:30~20:15、泊り1本・日勤2本
- ・今までは「あけぼの」の需要があった。今回は「最終のこまち」に合わせた。MVで対応できる。

②サービスマネージャーの体制の見直しです。

- ・現行-A番・B番(7:55~16:25)の日勤2本
- ・改正-A番(8:55~18:55)は案内業務を継続

B番はサービスマネージャーを外し内勤補助や案内など多様な活用をする。臨機応変な体制にし箇所長の判断。

③秋田駅の営業関係職要員は27、現改比較で△2となります。

- ・現行-交代2形×4、交代3形×2、変形10-1形、変形9-2形、変形9-1形、変形7H-1形
- ・改正-交代2形×3、交代3形×2、変形10-1形、変形9-2形×2、変形9-1形、変形7H-1形

④改札の業務体制は変わりません。

営業協議会とも連携し関係分会での問題点

要求集約をお願いします。

「2018 年度冬期対策」を9月28日

会社提案を受け取る！

会社は「秋田新幹線を主体とし、在来線においても安全で安定した輸送をお客さまへ提供するため、部外能力を活用した除雪体制を確保するとともに、全社員及びグループ会社等と一体となって冬期対策を実施する。」とし、2018 年度における冬期対策の基本的な考え方が示されました。今冬の冬期対策の主な特徴点は、①二ツ井・碓ヶ関・大鰐温泉・石川駅の副本線を主本線に変更すること。(2018 年 12 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)②奥羽本線の津軽湯の沢駅を 2018 年 12 月 1 日～2019 年 3 月 31 日までの期間を、全列車通過とすること。③深浦駅の冬期用配置については、入換業務が乗務員になったことで要員配置はしないこと。等があげられます。また、横手運輸区と大館運輸区の信号・構内業務(操車担当)については、2014 年度から実施している自区の乗務員での担務変更で運用することになります。提案時点での支社側との交渉内容の抜粋です。

組合) 今冬の除雪の部外能力の活用は拡大しないのは何故か？

会社) 雪の多い県南や津軽地区でリビットと契約してきた。中央地区や県北地区はそんなに雪が多くなく拡大は見送った。いろんな検討はしていく。グループ会社か部外かは検討していく余地はある。

組合) 運輸区の自区での担務変更について何名の担務変更になるのか？

会社) 職場で面談し箇所長の判断で行う。年齢の上からの順番はあるが特にルールはない。大館運輸区は 2 人、横手運輸区は 3 人となる。

組合) 総合車両センターからの冬期要員への兼務発令はあるのか？

会社) 考えていない。

組合) 秋田駅の表 2 番より MCR 出動する時の操車を付けて誘導はあるのか？

会社) 必ずつけていく。

組合) 今回、二ツ井駅の副本線が使用停止になったが、以前は行わないと言っていたが何故行うのか？

会社) 異常時に厳しい。社員の声もあり今回はやってみる。貨物も旅客列車も主本線へ変更する。

組合) 部外能力の活用の除雪で、ポイント不転換の取扱いであくまでも「運行業務」でよいか？

会社) 去年と変わらない。今まで通りである。

組合) 投排雪・機械除雪の技術継承に関して、今冬の保技セの計画はどうか？

会社) 11 月から教育をしていく。実績として 3 年以上の経験で取らせている。オペレーターは支社、操縦は各保技セで行う。

組合) グループ会社と一体となって冬期対策を実施するのであれば、グループ会社の冬期体制を教えてください。

会社) 本体を見て協力していく。課題解決に向けてグループ会社と議論はする。

組合) 今回、二ツ井駅の副本線が使用停止になったが、以前は行わないと言っていたが何故行うのか？

会社) 異常時に厳しい。社員の声もあり今回はやってみる。貨物も旅客列車も主本線へ変更する。

組合) 投排雪はこまちルートに毎日走るのか？期日は？

会社) 毎日走る。文書で発行する。大曲と秋田の保技セで協議し、降雪がないとなれば、やらないかは現場長の判断である。

組合) 深浦駅の冬期要員の配置がないが何故か？

会社) 昨春のダイヤ改正で入換業務が運転士になったためである。



今冬を乗り切るためにも営業・輸送・運転士・車掌・設備・検修それぞれの協議会と連携し各分会での問題点を集約し

10月31日まで要求集約をお願いします。